



徐々にではありますが、登校ができるようになりました。とはいえ、通常の授業ができるようになるまでにはもう少し時間がかかりそうです。もしばらくは自宅での学習がメインになりますが、地道に努力していきましょう。

2、3年生には、つい最近、自宅受験という形式で模擬試験（模試）を受けてもらいました。時間を守り真剣に取り組んでくれたことと思います。3年生はリスニングだけは学校で受け、今までのセンター試験とこれからの共通テストの違いなどが少し分かってくれたのではないのでしょうか。音声必ず2回読まれるわけではなく、1回読みの問題もありましたね。今まで以上に集中する必要があるようです。

1年生を含めて3学年全体での模試は7月6日(月)に行う予定です。なぜ模試を受けるのか、考えたことはありますか。模試を受ける意味を分かっていた方がよいと思いますので、以下に挙げてみます。

- ①これまでの学習事項がどれだけ定着しているかを確認する
- ②全国レベルでの自分の学力とその伸びを正確につかむ
※大学受験は全国の生徒がライバルです！
- ③模試を利用して、知識を増やす。理解を深める(できなかった問題をやり直すことで、その部分がわかる・できる → 実力アップにつながる)。
- ④自分の弱点や学習の穴を確認し、今後の学習につなげる

上記③・④のように活用するためには、模試が終わったら必ず自己採点することが肝心です。模試は受けっぱなしにせず、模試ノートを作り、3～4回は復習しましょう。模試の結果の数字だけを見て一喜一憂するのでは、実力がついていくことは無く、模試を受けている意味が半減してしまいます。できなかった問題こそ大切にしていきましょう。

(異なる観点から見た模試の意味と模試ノートの例が「進路の手引き」P.22～P.23に載っていますので参考にしてください)

◆模試の活用の仕方— 模試は3～4回活用する。

- ・1回目(模試当日)…集中して問題に取り組む。
- ・2回目(模試受験後)…すぐに自己採点をして、間違っていた問題や確信をもって解答できなかった問題をやり直し、解法や考え方、知識を確実に自分のものにする。○×を付けるだけでなく「どうしてそうなるのか」や「どこまで、どのように解答すればいいのか」(部分点)を確認する。
- ・3回目(結果返却時)…できなかった問題を解き直し、知識や理解度を確認する。
- ・4回目(1ヶ月後以降)…できなかった問題が本当に定着しているか確認する。

模試以外に、1、2年生の皆さんには7月3日(金)に「学びみらいPASS」があります。これは、いま求められる力を多面的に測定するもので、具体的には、英語・数学・日本語(各50分)、リテラシー・コンピテンシー(各45分)、リーズ(30分)のテストを受けてもらいます。

進路資料室の使い方・赤本の貸出について

進路資料室(全体図は裏面)は授業時間以外に利用することができます。進路に関する資料が多くありますので、積極的に足を運んでみてください。進路指導部の教員が進路に関する相談にも乗ります。

進路資料室内の資料(赤本や大学のパンフレットなど)はみんなのもです。資料は進路資料室内で閲覧してください。ただし、赤本は所定の手続きを取れば、翌日まで貸し出します。なお、進路資料室前の廊下に置かれた資料は必要な人が自由に持ち帰ってよい資料です。

※進路資料室内は飲食厳禁です！

【赤本を借りるときのルール】(赤本は各大学毎の過去問が掲載された本)

- ・隣の進路指導室か職員室にいる進路指導部の教員に声を掛ける
- ・赤本貸出簿に必要事項を記入する
- ・貸出期間は1日で、翌日返却する。ただし、翌日が休みのときは次の登校日に返却する

(進路資料室の西隣にある自習室の利用時間は原則として17時までです。18時まで利用したい場合は担任の先生に聞いてみてください)